

第 13 号

熱田高同窓会報

発行
愛知県立熱田高等学校
同窓会事務局
TEL(052)-652-5858

同窓会ホームページ
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>



第 60 回生 卒業式

第六十回生をお迎えして

同窓会会長 佐々木 元彦

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。
毎年三月・四月は、変わらぬ別れと出会いの時でもあります。熱田高

校の卒業式は二月二十七日、節目にあたる第六十回目の式典がご来賓・ご父兄・教職員・在校生に見守られながら、厳粛にして品格ある、落ち着いた環境のもとに挙行されました。六十年の歳月を経て、このたび三百三十一名の仲間をお迎えし卒業証書番号が、二万五千番を超えたことであります。脈々と引き継がれてきた伝統に思いを寄せれば、まことに意義深いものがあります。また四月、希望に胸を膨らませた初々しい新入生三百六十名をお迎えできた喜びであります。

毎年の行事とは言え、一筋の伝統の継承を脈々と継続してきた結果であります。ご赴任いただいた学校長をはじめ多くの諸先生方のお骨折りによって、脈々と絶えることのない教育目標である『正浄、真剣、敬和』のもと、ご尽力いただいたの成果と受け止め、卒業生の代表として深甚なる感謝を申し上げます。

同窓会は、老朽化した『校舎建て替え運動』や『校庭の人工芝化』に向けて努力してまいります。熱田高校の学習環境は「現状でいいのか」と役員一同が心に刻み一層の努力をしてまいります。卒業生の皆様方と一丸となって母校の環境整備に物申してまいります。

会報十一号・十二号で一部ご報告しております環境整備の一つ『校庭の人工芝化』の経過は、県教育長への要望書・県知事への要望打診と進めてまいりましたが『やれ予算が無い、あれが無い』と言いつつ、いいことを申しております。弱小県政ならまだしも、東京・大阪に次ぐ大愛知の県政において、東海四県の中で県立高校に一ヶ所も『人工芝化』された設置校が存在しないことに心が痛みます。他方、私学助成には大いに努力しているようではありますが、県政を預かる県の行政の方々の姿勢とは、こんなことでいいのだろうかと考えさせられるこの頃です。

さて、平成二十九年は、創立六十五年を迎えることとなります。いよいよ今秋からは、周年行事に向けての準備が始まります。本会では横軸と縦軸の交流を深める為に、同期会の開催促進と部活動OB総会の開催促進に關し助成しております。ぜひ同期会幹事並びに部活動代表の皆様方、この実現に向けて一層のご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

おわりに、会員の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。
平成二十七年五月吉日

変革の風を未来に向かう力に

校長 小林整次



同窓会の皆様方には日頃からの御支援に心から感謝申し上げます。

創立六十三年目を迎えた今年、サッカー部がインターハイ予選県大会を勝ち進み、決勝リーグ進出を果たしました。リーグ二日目の港サッカー場では、スタンドを熱田高校関係者が埋め尽くす偉容を目の当たりにし、本校の伝統と同窓生の御支援・期待の中で今があることを改めて実感し、感謝と決意を新たにしました。

また、今年度は定時制開設五十周年でもあります。去る五月二十七日に「定時制五十周年を祝う会」を給食室にて開催しました。御来賓として一回生の安中様、森様、二回生の後藤様に御臨席を賜り、草創期の苦労話や給食の様子などをお話しいただきました。記念植樹をはじめ周年事業の運営に温かい御支援やお言葉をいただき心から感謝申し上げます。

現在、高等学校教育は変革期にあります。今後五年の間に高校入試選抜制度、大学入試選抜制度が大きく変更します。激動の変革期を熱田高校が

乗り切るためには、変化の風を力強く受け止め未来へ進む力に変えていくことが必要です。今後も熱田高校が力強く前進発展できるよう、御支援・御協力をお願い申し上げます。

定時制課程の今

「ひだまりファーム」

教頭 佐野好宏



生徒指導主事の言動が発端となり、生徒会有志を中心に給

食棟の横にあった荒地を畑とする計画が「ひだまりファーム」の始まりであった。開墾された畑では、どうもろこし・なす・ピーマン・きゅうり・トマトなどが栽培・収穫され、皆の笑顔とともにホームページに公開されている。この農作業は、生徒会の組織を超えた始業前のクラブ活動のような存在となり、「野菜づくり」の予期せぬ副産物が、学年の枠を超えた「仲間づくり」であった。

話は変わるが国立教育政策研究所が発行している生徒指導リーフには、「絆づくり」と「居場所づくり」の違いについて以下のように書かれている。

『「絆づくり」とは、主体的に取り組み共同的な活動を通して、児童生

徒自らが「絆」を感じ取り、紡いでいくことを指しています。「絆づくり」を進めるのは児童生徒自身であり、

教職員に求められるのはそのための「場づくり（場や機会の提供）」、「いわば黒子の役割と言えます。「居場所づくり」とは、児童生徒が安心して自己存在感や充実感を感じられる場所をつくりだすことを指しています。すなわち、教職員が児童生徒のためにそうした「場づくり」を進めることであり、児童生徒はそれを享受する存在といえます。児童生徒が主体となる「絆づくり」と、教職員主導で行う「居場所づくり」の違いは、「つくる」の主語が、児童生徒なのか、教職員なのかにある。』

ひだまりファーム以外で校内の「居場所づくり」の例として「切絵づくり」や「基礎的な学習会」、「部活動」などを挙げることができる。本校職員は、それぞれの個性を生かした「居場所づくり」に労を惜しまない。それらの活動を通じて、教師や友人との心の結びつきや信頼感の中で主体的な学びを進め、共同の活動を通して「絆づくり」を進めている。

名古屋市内の普通科の夜間定時制課程では定員を下回る募集状況がほとんどだが、熱田高校では定員を

割らない状況にある。「居場所づくり」を前提とした「絆づくり」が本校の魅力の要因のひとつとなっているのではないかと。昨年度実施したアンケートでも「熱田高校定時制に入学して良かったと思う」という質問に対して、八割以上の生徒が「そう思う」

「ややそう思う」と答えている。今後も多くの生徒が「熱田高校定時制に入学して良かったと思う」「熱田高校定時制で頑張った良かった」と答えてくれるような学校でありたい。

ひだまりファーム

第三棟図書館南側に設置



熱田高校の今

進路指導部の当面する課題

進路主任 都築 秀夫

熱田高校は部活動と学校行事が活発です。この伝統は今でもしっかりと受け継がれており喜ばしい限りです。しかし、学習・進路の面においてはどうかでしょうか。先輩方が在籍していた頃と比べて、学習時間は少なくなっているのではないのでしょうか。三年生の後半にならないと進路決定の本格的な行動に移せない、進路意識の希薄な生徒も近年増加しているように思われます。低学年のうちから進路意識の高揚を図るために、二年前から第二学年からの理系・文系の類型選択を導入しました。

近年、大学入試の制度はめまぐるしく変化し、AO入試・推薦入試の拡大や一般学力人試の多様化・複雑化など我々教員でも把握しきれないようになっています。大学入試の結果予測も読みにくく合否判定がなかなか難しい状況になっています。それゆえ、生徒の進路選択もとにかく早く決めてしまいたいという気持ちが強くなり、国公立大学を目指すだけの学力をもちながら私立大学のAO入試や推薦入試に流れてしまう生徒も増加してきているようです。

低学年のうちから進路意識を高め学習習慣を確立させること、入試の状況を的確に分析して合否予測をたて、生徒が少しでも高い目標に向けて最後まで頑張る体制を確立することが熱田高校の進路指導の当面する課題となっています。資料として『過去五年間の卒業生の進路別実数』『過去五年間の進学率と地元主要大学の合格者数』『過去三年間の国公立大学合格者数』を載せておきます。

過去3年間の国公立大学合格者数〔()内は浪人の内数〕

平成26年度		平成25年度		平成24年度	
現役生	15	現役生	25	現役生	16
浪人生	9	浪人生	9	浪人生	5
名古屋	2(1)	名古屋工業	3(3)	名古屋工業	2(1)
名古屋工業	1(1)	愛知教育	2	愛知教育	1(1)
愛知教育	2(1)	豊橋技術科学	1	岐阜	2
岐阜	1	岐阜	2(1)	三重	3(1)
三重	2(1)	三重	5(1)	富山	1
静岡	1(1)	富山	1	鳥取	1
一橋	1(1)	金沢	1	大分	1(1)
富山	1	福井	1	琉球	1
山梨	1	室蘭工業	1	愛知県立	4
岡山	1(1)	宇都宮	1	富山県立	3
香川	1	鳥取	2(1)	静岡文化芸術	1(1)
宮崎	1	愛媛	1	広島市立	1
愛知県立	4(1)	琉球	1		
名古屋市立	1	愛知県立	4(1)		
新潟県立看護	1	名古屋市立	1(1)		
都留文科	1	青森公立	1(1)		
下関市立	1(1)	静岡県立	1		
長崎県立	1	静岡文化芸術	1		
		富山県立	1		
		会津	1		
		都留文科	1		
		山梨県立	1		



第62回卒業式
平成27年2月27日

過去5年間の卒業生の進路別実数（現役生のみ）

年度	4年生大学		大学校	短期大学	専門学校	就職		家事従事	その他	浪人	合計
	国公立	私立				公務員	民間				
26	11	207	0	19	50	2	3	0	1	24	317
25	20	215	0	12	37	2	1	0	3	24	314
24	15	224	0	19	46	2	3	0	6	34	349
23	11	233	0	20	44	3	0	0	2	35	348
22	15	196	0	19	37	6	4	0	4	35	316

過去5年間の進学率と地元主要大学の合格者数（延べ数）

年度	大学(%)	専門(%)	南山	愛知	名城	中京	愛知学院	愛知工業	中部	愛知淑徳	金城学院	相山	国公立	浪人
26	74.8	15.8	35	80	32	48	100	14	38	62	12	9	15	24
25	78.7	11.8	33	40	46	41	47	13	28	45	13	30	25	24
24	73.9	13.2	5	40	43	26	61	14	33	38	13	11	16	34
23	75.9	12.6	18	55	71	35	48	16	18	50	8	13	12	35
22	72.8	11.8	12	33	28	27	27	5	19	33	9	9	15	35

生徒会活動の近況報告
特活推進部主任 山中洋一

部活動の活躍について

現在、部活動は十七の文化部(同好会を含む)、十の運動部があり、放課後を中心に活動を行っています。

文化部では、昨年度、吹奏楽部が名古屋アンサンブルコンサート名古屋地区大会サックスフロンティア五重奏で金賞を、同、愛知県大会で銀賞を受賞しました。オーボエ個人重奏コンテストでは、名古屋大会で優秀賞、本大会(中部地区規模)では、金賞を受賞しました。また、物理部は「ESD活動」に参加し、ユネスコ本会議でプレゼンテーションを行ったり、百人を対象に実験教室を開催するなど、活躍しています。

運動部では、本年度の総合体育大会において、サッカー部、バレーボール部男子、柔道部(男子団体・女子個人)、卓球(団体・個人シングルス・個人ダブルス)、陸上(ハンマー投げ)、テニス女子(個人シングルス・個人ダブルス)が、愛知県大会出場を決めました。中でもサッカー部は、愛知県大会で決勝リーグに進出し、全国大会出場は惜しくも逃がしたものの、県ベスト四という輝かしい成績を収めました。この総体で惜しくも県大会

行くことができなかつた部活も、次の大会に向けて、がんばっています。

第六十二回熱高祭について

「笑顔で埋めよう、青春の「ペーじ」をスローガンとして、昨年九月十日からの三日間、熱高祭が開催されました。

初日の体育祭は前週の悪天候のため、延期も危ぶまれましたが、生徒によるグラウンド整備と、当日の晴天にも恵まれ、何とか予定通り行うことができました。文化祭も、土曜日の一般公開では千二百名を超える来場者がありました。ドイツニー風のゲート、シンデレラ城、ふなっしーなどの野外展示が来場者を迎え、体育館では熱い劇が皆を楽しませていました。

今年の熱高祭も昨年以上に盛り上がるよう生徒会、各委員会を中心にがんばっていききたいと思っています。

文化祭
クラス発表の様子



体育祭の風景



文化祭の風景



平成二十七年年度県総体の結果

【サッカー】

- 二回戦 熱田 4-3 豊田南
- 三回戦 熱田 2-1 菊里
- 準々決勝

熱田 1-1 (PK 5-3) 豊川

決勝リーグ

- 熱田 2-1 東海学園
- 熱田 1-3 中京大中京
- 熱田 1-2 岡崎城西
- 愛知県大会ベスト4

【陸上競技】

ハンマー投げ
代谷 40メートル 07 16位

【柔道】

- 団体一回戦 熱田 2-3 半田
- 男子個人 余語 二回戦敗退
- 西出 二回戦敗退
- 木村 二回戦敗退

【バレーボール男子】

一回戦 熱田 0-2 小牧工業

【硬式テニス女子】

- 個人シングルス一回戦 青山 0-8 (楢山)
- 個人ダブルス一回戦 青山・千田 3-8 (楢山)

【卓球】

- 団体一回戦 熱田 1-3 岡崎城西
- 個人ダブルス 今吉・田中 0-3 (杜若)
- 個人シングルス 今吉 1-3 (渥美農業)

県総体決勝リーグを戦って

部長 三年 川畑 智誠



決勝リーグに残って 愛知学泉大グラウンドにて

十五年ぶりの全国総体出場の夢が敗れ、残念無念！あと一勝できれば夢が叶うところでしたが、決勝リーグの結果が一勝二敗であったため敗退してしまいました。
しかし、決勝リーグに駒を進めることができないチームが数多くいる中で、県ベスト4の成績を収めることができたのも顧問の先生やコーチの方々のご指導の他、応援して下さった校長先生をはじめとする先生方、全生徒のみんな、OBや父母の会、そしてサッカー部の仲間のおかげと感謝しています。

“本当にありがとうございます”
多くの人に支えられ、一緒に戦ってきたことへの喜びで胸がいっぱいになると同時に、期待に応えられなかったことへの悔しさがひしひしと込み上げてきます。

僕たちのチームは、入学当初、地区大会ですら優勝できない弱いチームでした。先生やコーチ、先輩方から学び、一緒にプレーすることで徐々に力を付けることができました。辛く厳しい練習に心が折れそうになったこともありますが、多くの仲間を支えられ、ここまで自分自身を強くすることができたのだと思います。

今後は、新たな伝統を作り出し、強豪校と言われることを目指して、さらに高い目標に向かって一層の努力をしてまいります。



6月6日グリーングラウンド刈谷にて

吹奏楽部の一年

部長 稲葉 詩歩

我が吹奏楽部は、年間を通じて演奏の機会が数々あります。

ご紹介しますと、各種の吹奏楽コンクール、地域の秋祭り、ボランティア活動の病院訪問、金山駅構内でのイベント参加等です。

中でも「熱高祭」は特別な行事であって、部員の多くは期待に胸躍らせ楽しみにしております。他の行事と異なり、全校生徒の前でつちかった演奏を披露するから、大変いい機会になっており、観客の生徒達も盛り上げていただけるから、思い出の一つとして残ります。

毎年の締めくくりは「定期演奏会」です。これは、演奏会の構成の全てを部員で考えます。特に二年生は、ここを終えて引退をしますから気合が入ります。苦勞するのは、演奏曲目数も多く完成させるまで、検討会や練習会等々の為に時間を費やされることです。でも、当日来て下さる皆様方に、「来年もまた来たい。」と思っただけのように、先輩方の力を借りながら、また自分たちも楽しむことを忘れず、一致協力のもとに準備をします。苦勞した分、大きな達成感を感じます。

おわりに、部員の各自は、一年間をただ平凡に過ごした訳ではなく悩んだこともあったことと思います。

部長として、はじめに入部した五十九人が、一緒に引退できることを誇りに思っています。おわりに、後輩たちが吹奏楽部の伝統を繋げてくれるようお願いいたします。



平成26年度 定期演奏会 ウィルあいちにて

訃報に接して

江村雅夫君を偲んで

四回生 豊田和弘



私は江村君と同じ熱田高校四回生の豊田和弘と申します。高校時代の

彼はバレーボール、写真部、山岳同好会員として活躍しました。彼はとても明るい性格で人とのつき合いが上手で、話術にたけた活発な人でした。当時四回生は五クラス、二百五十人で進学コース二、就職コース三クラスでした。普通高校でも大半が就職する時代でした。

彼は高校卒業後繊維関係に一時身を置きすぐに家業をつぎました。それから五十年、とてもいい奥様と一男三女に恵まれ、いまや三つの会社を立ち上げました。

熱田高校の同窓会役員として五年ごとに同窓会名簿の作成、広告集め、あらゆる面で彼は大変尽くしてくれました。又ゴルフの熱田OB会の運営にも尽力してくれました。彼がいなければ何十年何十回も続くことはなかったでしょう。

私も後期高齢者になりました。振り返って見ると、長い人生の中で色々な事がありました。友人関係

では彼の存在がとても大きくて貴重なものでした。色々な事が偲ばれますが、皆さんと一緒にご冥福をお祈りしましょう。

合掌



佐々木 元彦 同窓会会長の献花

江村先輩との思い出

七回生 小林 勝治

私と江村先輩との出会いは、社会人となってからバレー部の友人と一緒に創立二十五周年記念同窓会に出席したことがきっかけでした。それ以後、同窓会や熱田OBゴルフ大会、私の仕事を通じて五十年近いお付き合いが始まりました。

最大の特徴は、何でも「良い」と思った事は、すぐに実行に移す手際の良さ。反面「ダメ」だと思っただけで中止する判断の速さには、いつも驚いて拝見しておりました。また、人の面倒を良くされ沢山の脈を築かれました。私も「ユバちゃん」と言われ、七十歳を過ぎますが公私に渡りお世話になりました。

私の最大の思い出は、江村先輩一家と私の家族で伊豆方面一泊旅行に出かけたとき、私の運転ミスで事故を起こしてしまった事です。江村先輩が普通に座っておられたら即死の様な事故でしたが、幸運にも腰のムチウチ症状で終わることができました。今でも頭の中には、その時の大事故が鮮やかに残っています。あの時、江村先輩を大変な惨事に合わせていたら、今の私は無かったかと思っています。それを契機により距離が縮まったように今は思っています。

晩年、病気でよく入院され、病院へお見舞いに行くと「俺は、ドクターから六十歳までと言われたけれども、もう十年以上も長生きしている。もういいよ。」と言って笑っておられました。今思えば、自分の人生をもう感じ取っておられたのかと思えました。

亡くなる当日は、皆で逢って「励ます会」の約束をしておりましたのに

ドタキャンの急逝とは…。江村先輩の演技だったのかもしれない。

夜、お顔を拝見に伺った時、眠るがごとくの顔立ちでした。私は思わず「江村さん寝とっていかんがね。」と声を出してしまいました。世間では「惜しい人を亡くした。」とよく申しますが、江村先輩にはピッタリの言葉だと思っております。

長い間本当に色々お世話に預かりありがとうございました。

合掌

友人代表 長谷川 勝敏氏
元 関 脇 長谷川 (佐渡ヶ嶽部屋)



合田先生を偲んで

教諭 大橋昭紀



私が合田先生に初めてお会いしたのは、今から約十八年前の四月、私の前任校に先生が転勤してみえたときでした。それ以来、同じ学校で勤務していた時は勿論、私が熱田高校に転勤してからも、お目にかかる機会が度々あり、その度に色々教えていただいたり、楽しい時を過ごさせていだいたりしていました。今年度、久しぶりに同じ学校で仕事ができることとなり、以前と変わらぬお仕事をぶりに、敬服するとともに、同じ分掌の仕事をしていただけるということで、大変頼もしく感じておりました。

それが、この一月、突然、本当に突然に、先生の訃報に接することとなり未だに現実のことと信じる事ができません。でも、現実を受け止め、先生へのお弔いの辞として、これまでのほんの一部を話させていただきます。先生は、本当に研究熱心で、常に、色々勉強なさっていましたね。昔から哲学の研究会などに常時参加され、最近ではドイツ語の学習会にも加わっていらつしやいました。熱田高校の他、大学等で教鞭をとって

らつしやる中で、時間を惜しむかのように精力的に勉強なさっているお姿は、私たちにとって、まさに鑑でした。そうした研究から得られた深い知識と、現場の教員としての豊富な経験に基づいた先生のお話は、私たちにとって本当の貴重な指針となるものでした。

また、先生は大変広い心の持ち主でいらつしやいましたね。私のような後輩が、先生のお考えと異なる意見をぶつけても、いつもそれを「やわらかく」受け止めてくださいました。それ故に、先生とお話ししているときには、疑問や反論があれば、遠慮せずに自分の考えを述べる事ができました。そうした私の疑問や反論は、実は間違っていたことが多かったのですが、まずは「やわらかく」受け止めて、でも、間違いは間違いだときちんと論してくださいました。先生の大きな心がなかったら、私も意見を述べる事ができず、結果、自分の間違いを正す機会も失っていたことでしょう。本当に感謝しております。まだまだ先生からは、学ぶべきところがたくさん残っていたと思います。しかし、悲しんでいるばかりではいられません。先生から学ばせていただいたことを、今後活かしていくことで、先生のご遺志を多少なりとも継がせていただくことができるの

ではと考え、私たちが精進してまいります。

どうぞ、これからも、熱田高校の生徒と職員を御見守りください。

同期会を開いて

喜寿を迎えての同期会

一回生 山田稔

平成二十六年十一月十六日(日)熱田区にある賀城園で開催しました。

同窓会の周年行事は五年毎にありますが、同期会の開催は、五年毎では長過ぎるので、その間に開こうではありませんかとのことで、何十年も以前から開催しているところでした。

昨年は、七十七才の喜寿を迎える歳でもあり、五年後は開催が難しいのではないかとこのこともあり、今年が最後の同期会に成るかもしれないとのことで開催しました。五年前は四十一名の参加がありました。今回は年齢でもあり、病氣・家族の看病等も多く、二十七名の方の参加で開催することが出来ました。中には東京からの参加者もありました。なお、同窓会よりご援助頂きましたことと幹事一同感謝致して居ります。会は校歌の合唱で始まり、自己紹介・不参加者の状況報告・懇親会・カ



1回生 集合写真

ラオケ・ビンゴゲーム等二時間程の時間は瞬く間に過ぎてしまいました。当日は六回生も同じ会場で開催しており、小島俊夫(旧姓浅井)・日比野文一先生も挨拶においで頂き、昔話に花を咲かすことが出来ました。

最後に今回で終わりにしないで、五年後も開催してくれとの多くの方から話があり、健康であれば開催しましょうと約束し、万歳三唱をして閉会となりました。この歳で、五年後元気で居られるか分かりませんが、健康を維持していきたいとの気持ちにさせられました。

さて、余談になりますが、介護保険料・健康保険料・電気・ガス・水道料

金他の値上がりの中、年金については値下がりの模様であり、年寄りの生活は益々厳しい時代が来ます。

こうしたなか振り込め詐欺の話が、毎日の様にニュースで報じられています。電話機を留守番機能にしておき、相手が話したら受話器を取るようにしてはいますが、なかなかうまくい事はいきません。皆さんは如何対処しておいででしょうか。

また、安全保障関連法案(集団的自衛権関連法案・他国軍支援法案)が国会を通ろうとしています。殆どの国会議員は戦争の恐ろしさを知りません。私達一回生は、終戦が小学校二年生でした。毎晩三度程有る空襲警報や爆弾や焼夷弾により近隣の家々が焼かれていく様子、その後の死傷者を見た恐ろしさを知っているのは、我々の年齢が最後だと思えます。

我々が存命中に孫が軍隊に入り、戦争に狩り出される事の無いよう、毎日祈っています。以上とりとめの無い事を書きましたが、昔の仲間と会うと本当に若き時代にもどり、ちゃん・君と呼び合い、良い時が持てますよ。

第六回生同期会

六回生 道清 吉美

熱田高校六回生(昭和三十六年卒)は平成二十六年十一月十六日に熱田

区の賀城園で、日比野先生、小島先生の恩師お二人をお迎えし、二十六名の同期の参加をえて、五回目の同期会を開催しました。

会に先立ちまして故人となられました、恩師、学友のお名前を読み上げ、ご冥福をお祈りし、黙祷をささげました。

そのあと、今回の同期会の特別企画であります、六回生・野村義明君による居合演武にて、先立たれました

居合演武

6回生 野村義明 七段
北辰 櫻樓流



故人に對してのお別れの挨拶と、悪鬼・悪霊を打ち払い、参加者の末永いご健勝を祈念する儀式(暇乞・いとまごい)を行っていただきました。

そのあと幹事の乾杯で親睦会の始まりとなりましたが、顔の面影は残っていないも名前が浮かばないという久しぶりの級友との思い出話に花を咲かせ、現在の健康問題が話題の中心になるなどして、楽しいひと時を過ごすことができました。

最後に一同で懐かしい校歌を歌い次会の再会を約束して、盛会のうちに中締めとなりました。しかしながら、居合演武をしてく



あつた 6回生 同期会 2014. 11. 26 於：賀城園

れた同級生・野村君は、還暦六十の手習いから初めて十年余りで大日本・居合道連盟・居合道七段を極めたのは立派なことだと思えます。真剣による演武も素晴らしく、身の引き締まる感動を覚えたのは、私一人ではないと思う。そしてまた、抜群の健康も手に入れたらしい。

振り返れば、我々も前期高齢者、当然かもしれないけど、加齢とともに心身の老化は避けられない。少しずつ頑固になり、物忘れも進んでいる

ように思う。現在七十代の男の平均余命は約十五年と聞いている。仮に、あと十五年間元気に活動できるとして、残された時間がこれまで生きてきた七十年の時間と等価と考えると時間当たりの価値は、若い頃の五倍にも相当する。そのためにも交友関係を広げ、趣味などでその時間価値を大きくし、人生の終盤を充実させたい。野村君の居合道まで行かなくても・・・

恩師から五年単位の人生設計の話がありました。とりあえずは2020年の東京オリンピック開催年まで元気で生きれば、喜寿のお祝いができます。私の場合、日々はパソコンを趣味としているが、ストレスをためない生活リズムを維持するために定期的に親しい仲間との飲み会や、さらに月ごとに、適当な緊張とリラックス、オン・オフの切り替えのため、旅行と温泉で、心身の疲れを癒す・・・

そして毎年一回は、健康検診に行つて、データの確認と医者のアドバイスを聴いている。残された時間はそう多くない。一日一日を有意義に生きたい。だからこれからの同期会も、飲食中心の親睦会に留まらず、今回のように何か文化的イベントなど付加価値のついた会にすれば、参加者も増え、活性化するような気がする。

そんなことで、同じ年の気のおかげな
い仲間と会えることは「友あり遠方
より来る。また楽しからずや」で、幸
せなことだと実感している。

次回は、平成二十七年十一月吉日を
予定している。

同期会でできた人間関係

十四回生 洲崎 和也

毎年開かれる同期会は、高校時代
によく知らなかった仲間との新たな
友達づきあいが広がっております。

今年も七月五日に開催し、今年で
五年連続となります。その為の役員
は、総勢十五人ほどおり年間五回程
度役員会を開いております。今年の
同期会の参加者は八十七人でした。

ここ数年の分科会として、クラス
会、卓球部同期会、バスケットボ
ール部同期会、幹事役員宅での野外焼肉
パーティと牡蠣パーティ、京都への
日帰り旅行、山形への二泊旅行、数組
の夫婦での海外旅行、サッカー観戦、
仲間のダンスの発表会、部活の女性
だけの北海道旅行など色々な行事
が計画され実行されております。

六十歳から始まった同期会が、時
間に余裕ができた者の第二の人生を
有意義に過ごす仲間の集まりとして
大きなものとなってきております。
人生健康に留意し、楽しもう！。



第14回生集合写真

十八回生 還暦同期会

十八回生 和田 訓幸

十八回生(昭和四十八年卒業)は、
人生の一つの節目である還暦の歳を
迎えるにあたって、今までの人生の
中で色々な意味で大きく影響を受け
た旧友と合い、互いに還暦を祝い、今
後の人生で更なる飛躍する為の力を

分ちかち遇おうと、平成二十六年十一
月十六日熱田区金山のサイプレスガ
ーデンホテルで「還暦祝い同期会」を
行いました。

高校卒業後、四十二年経ち、僕の記
憶では三回目の同期会で、前回開催
から十数年経ち連絡がうまく取れな
い人もいるなか、幹事が多くの参加
をと力を併せた結果、当日は男性六
十五名・女性五十七名の参加があり
ました。女子の出席率は高く、また、
卒業後の繋がりの強さに驚きを感じ
ました。

当日は還暦ということでは何か赤い
物を着けようと赤いネクタイ・プロ
ーチ・スカーフ、さりげなくハンカ
チ・靴下・何も持ってこない人などな
ど、拝見するに高校時代と性格は変
わらない気がしました。

クラス毎に壇上に上がって一人ひ
とりが、名前と近況報告をしました。
最初、クラス毎のテーブルに集まっ
ておりましたが、時間とともにその
輪は、部活仲間であったり、一年・二
年時のクラス仲間であったりと色々
な集合体ができ、その輪の顔は在校
時と変わらない笑顔でした。次回開
催を五年後と決めて閉会としました。
しかし、まだ話し足りない様で一次
会・二次会・・・と。後で聞いた話で
すが、飲んで語っていたら明るくな
っていたという猛者もいたようです。

最後になりましたが、会場予約・企
画・案内状の配布等事前準備をして
下さった同窓会役員の十八回生代表
山口直彦君はじめ、この会を企画し
た仲間にお礼申し上げます。
皆さん本当に楽しいひと時をあり
がとうございました。五年後また元
気で会いましょう。

三十一回生同期会

三十一回生 山田 太郎

私達三十一回生は卒業してからク
ラス単位・部活単位での集まりはあ
ったものの同窓の同期会は開催して
いませんでした。そこで来年で卒業
三十年の節目の年を迎えることもあ
り、急な計画ではありましたが同窓
の同期会を平成二十七年三月に金山



岩本先生を囲んで



の開催を皆で誓い、大盛況のまま閉会となりました。まだまだ話足りないこともあって、そのあとにも有志で三次会まで「わいわいがやがや」と夜更けまで楽しみました。

今回の同期会では、都合により出席できなかった人や住所未確認で案内がきを送付できなかった同級生も多くいます。来年の三十一回同期会は熱田高校同窓会のホームページを活用して、より多くの同級生に出席していただけるよう、準備していきたいと思えます。

定時制創立五十周年同窓会を開いて

定時制一回生 森久勝

駅南口から徒歩一分のサイプレスガーデンホテルで開催しました。急な計画にも係わらず、同級生七十二名と恩師の鈴木先生・岩本先生・成瀬先生にも出席していただき、盛大に開催することができました。

当日は、同期会開始前から二十九年振りに再会する同級生の「俺のことわかる」「私のことわかる」「久しぶり」「かわってないな」「かわったな」と再会を喜ぶ言葉が飛びかい、同期会は再会を祝しての乾杯ではじまり、酒を酌み交わしながら、近況報告と思い出話しに花が咲き、「あっ」という間に時が過ぎていきました。最後に、来年の卒業三十周年記念同期会

定時制同窓会代表を交代した数年前から、「定時制卒業生の交流会を開けないものか」という声が聞かれました。定時の役員では、何回生までか区切りをつけてとの意見もありましたが、思い切って全卒業生の交流会として企画を考えようとの意見にまとまりました。為に、平成二十五年九月から多くの仲間の協力のもとに十数回の世話人会を開き、紆余曲折しながら、交流会日にたどり着くことができました。

交流会は、『熱田高校定時制で青春を過ごした。』この一点で旧交を温めることを目的としました。



交流会は、平成二十七年六月二十八日(日曜日) 二時から、金山総合駅の南にあるサイプレスガーデンホテルを会場と決め、恩師の方々のご出席者十名と卒業生の男性四十九人・女性五十二人の出席を得て、盛大に開催することができました。

恩師の方もお歳をめされ、なかでも御年九十三歳をお迎えになられた大野静彦教頭先生にご祝辞をいただき、会も一層の盛り上がりを見せました。また本年度、学校主催の定時制創立五十周年記念行事と重なり二重の喜びとなりました。

名残尽きない交流は続きましたが、時間は刻々と過ぎ行き、会は五時に終了しました。

おわりに、参加された皆様方の健康を願い、これからの一層の活躍を誓いあって、全卒業生による初めての交流会を無事終えることができました。

熱田高校 バンザイ…。



安中富一同窓会副会長 挨拶

参考までに、平成二十七年三月の第五十回定時制卒業生数を含め、千三百二十六名になります。



大野静彦教頭 岩塚 基先生 前田孝敏先生

同期会の開催予告

十九回生還暦同期会

日時…平成二十七年十月十一日16時から
場所…金山サイプレスガーデンホテル

二回生・六回生の方へ

本年秋季に開催を予定しています。

がんばれ熱高生

今回は、第二十回卒業生、第二十一回卒業生に投稿をお願いできました。また、全日制教頭の佐藤 章先生にも心の内を語ってもらいました。

「大切なものは、熱田高校で」

筑波大学教授 浅井 武



熱田高校同窓生の先輩、後輩諸兄、及び現役生徒父母のみな

様、第二十期卒業の浅井武(サッカー部)といひます。同級生のみな様、ご無沙汰しております(同級生といつても、ほとんどの方が知らないか、忘れていと思ひますが)

浅井武でググってみると思ひ出すかも)。早いもので、熱田高校を卒業してから約四十年が過ぎ、今年には還暦を迎える年になりました。ありがたいような、ありがたいと思ひます。その間、一度たりとも同窓会には出席したことが無く、というか、一度も連絡が無く、同窓会が開催されているのかどうかも不明でした。数年前、ニュルンベルグ在住の野崎君(サッカー部)

nozaki@jig-nordbayern.de) 関係の飲み会が開催された時、はじめて同窓会らしきものがあるらしいということ聞き、「なんで、こつちに連絡無いんや」と同窓会幹事の高岸君に愚痴をいってたくらいです。まあ、これを機会に同窓会を開いてほしいものです。西川君、よろしくお願ひ致します。

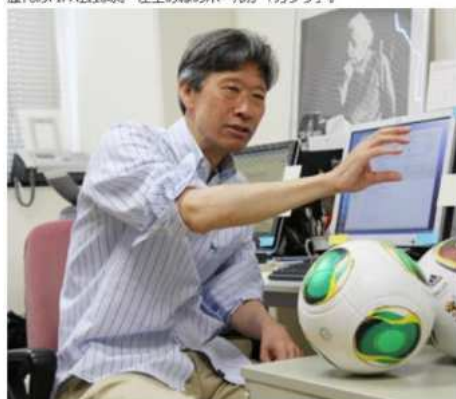
ところで、小生、サッカー部だった関係で、現在、筑波大学男・女サッカー顧問となつており、立場上、サッカー関係の雑誌や書籍を手伝うことがありますが(例えば、サッカーの科学・超技のメカニズム、洋泉社ムック2015)、その中身は、熱田高校で学んだことばかりです。故稲垣先生が、いつもいっておられた「ウイングはシユーズの底が白くなつていなくてはいかん」とか、森本先生の「ボールを大切に速く動かせ」とか、常に参考にしています。また、万前先生の「勝てると思つた瞬間こそ油断するな」と

いう教えは、いつの時代でも通じるものです。特に印象深かつたのは、三年生時のインターハイの県大会決勝戦のことで、ハーフタイムに2-0でベンチに戻つてきたとき、安藤キャプテン以下、口には出さないものの「楽勝やで」というオーラを発していたら(当時のサッカー部員は、不肖にも相手をナメている奴が多かつた)、そのスキを察知した万前先生に厳しく注意され、結果的に点差を広げ快勝したことを懐かしく思ひ出します。おかげで、正月選挙権の全国大会まで、一度も県内では負けなかつたように記憶しています。その翌年以降、後輩たちが、全国大会等で活躍してくれているのは嬉しい限りです。

また、小生の大学での研究活動では、Particle Image Velocimetry (PIV)といつて、空気の流れを可視化、色付けする分析法を使うことがあります。それは、基本的にコンピュータ処理されますが、極めて複雑な処理は、職人技的手作業で補助することもあります。そのような時、思ひ出すのが高校での地理の授業において、白地図を色鉛筆で色分けするワークで、当時は、いかに楽をして早く終わるかばかりを考えていましたが、その時培つたスキルが、こんなところで生かされようとは思ひもありませんでした(今どきの熱田高校では、そ

んな原始的地理授業はしていませんように)。そんなこんなで、卒業して約四十年が経ちますが、大切なことのほとんどは、熱田高校で学んだ気がしますし、学べると思ひます。ガリ勉進学校でもなければ、スポーツアニマル高でもない熱田高校ですが、逆にはまら意味で自由度は高く、型にはまらず個性を伸ばす良さがあるのではと思ひます。現役生徒父母のみな様、熱田高校を信頼して預けて下さい。現役生徒の諸君、自信を持って、自分に期待して高校生活をエンジョイして下さい。最後になりましたが、皆様の益々のご活躍をご祈念いたします。

歴代のFIFA公式球。左上の緑のボールが「カフサ」。



「カフサ」と浅井さん。スポーツ用具が並ぶ研究室には、アインシュタインのポスターも。

研究実績・著書は、浅井先生のホームページを参照して下さい。

購買店の目を通して

二十一回生 佐々木 博



昭和四十八年四月、熱田高校に入学できた喜びを今でもはつきりと覚えています。愛知県に

導入された学校群制度の初年度で、受験生は必ず志望校に入学できるとは限らなかつたからです。それまでも私にとつて熱田高校はとても身近な学校でした。というのも、昭和三十八年から現在に至るまでの五十年間、父の時代から購買店として生徒の皆さんにパン・飲料の販売をしているからです。

販売を始めた当初小学生だった私が覚えているのは、土日祝日に暇があると父に連れられてサッカーの試合の応援はもちろん、サッカー部のお兄さん達に遊んでもらい、夏休みのプール開放日に一緒に入れてもらったり、学校祭に参加したりと楽しい思い出ばかりで、自分も絶対熱田高校に行きたいと思っていました。入学後は、経験はなかつたがもちろんサッカー部に入部。三年間にインターハイ二回、選手権一回、全国大会に出場しました。レギュラーにはなれなかつたけど最後までサッカー部で頑張った結果、先輩後輩はもちろん今でも付き合える仲間が出来た

ことは本当によかつたと心から思っています。

大学卒業後、家業を継ぎ、父・スタッフの方たちと共に購買店で後輩となる生徒の皆さんに販売をするようになり、父の時代、自分の学生時代、その後といろいろな時代の生徒の皆さんと購買を通じて話をしてきました。礼儀は最近の生徒さんのほうがしつかりしているかなと思う反面、物事に対する執着心のようなものは父の時代の生徒さんが強かつたかと思えます。それでも今も昔も変わらぬのんびりしているという印象を強くうけます。

学生は学生らしく、と思えますがなんとなく大人びた生徒さんが多いのは今の時代を反映しているからなのでしょうか。

開校以来比較的自由的な校風は今も感じることができ、その中で伸び伸びと高校生活を過ごしている生徒の皆さんを見ています。



購買のスタッフのみなさん

と、熱田高校はこれからも益々飛躍していくことだろうと確信しています。

若人の望みあり

教頭 佐藤 章



五月末から六月初旬にかけて行われた総合体育大会県大会サッカー決勝リーグ

では、多数の同窓生の方々に応援に來いただき感謝申し上げます。残念ながら全国にはあと一步のところでありませんでしたが、諸先輩方に支えられていることを生徒共々職員も実感でき、有意義な時間を過ごせました。

さて、熱田高等学校に赴任して、一年余が経過しました。この一年間で気づいた熱高生のよさと、もう少し頑張つてほしい点をあげてみたいと思います。

第一に、素敵なあいさつができる生徒が多いと感じています。素敵なあいさつとは、自然な感じであいさつができ、嫌みがないと言うことです。第二に、掃除をきちんとできる生徒が多いことも実感しています。当たり前のことかもしれませんが、清掃時間になれば自然と掃除区域に集まり、自分たちで役割を決め、仕事をこなしている様子が見受けられます。第三に、先生の注意や指示に対して素直な気持ちで聞くことができる生徒が多いと感じました。これは、物事を前向きにとらえることができる生徒が多いことの表れだと思えます。

これからの点から、ご家庭でのしつけは言うまでも無く、周りにしっかりと愛されて成長してきた生徒が多いことがよくわかります。

こうした心優しく、素直な性格を持った生徒がたくさんいる学校では、穏やかな毎日が過ぎ、楽しい高校生を送ることが出来ます。大変素晴らしいことだと思えますが、何となく物足りない点があることも事実です。

もう少し欲を持つてもらいたいと感じることがあります。特に学習面で、現状に満足してしまい、自分で限界をつくり、あきらめてしまう残念な場面をよく目にします。



初任者研修にて

様々な可能性を持つ熱高生ならもう少し頑張れるはずで。我々教職員も生徒の意識を高めるために環境整備をしていきます。同窓の皆様方も、ことあるごとに叱咤激励していただき、「若人の望みあり」熱高生の可能性を伸ばしていきましょう。

同窓会役員

- 会長 佐々木元彦 (1回卒)
- 副会長 波田 忠 (1回卒)
- 中野 道孝 (2回卒)
- 岩淵 正憲 (3回卒)
- 豊田 和弘 (4回卒)
- 西田 和子 (5回卒)
- 万前 秀男 (6回卒)
- 小林 勝治 (7回卒)
- 井上 亜夫 (8回卒)
- 武藤 史子 (9回卒)
- 中村日出夫 (11回卒)
- 真木 伸一 (13回卒)
- 福島 義広 (14回卒)
- 石田 直城 (15回卒)
- 伊藤 武博 (16回卒)
- 柿崎 賢一 (17回卒)
- 山口 直彦 (18回卒)
- 木村 隆秀 (19回卒)
- 佐々木 博 (21回卒)
- 奥田 隆庸 (25回卒)
- 近藤 かをり (26回卒)
- 梅村 敬史 (28回卒)
- 樺山 泰久 (36回卒)
- 安中 富一 (定1回卒)
- 書記 宮田 忠男 (10回卒)
- 谷澤 伸 (11回卒)
- 小倉美津夫 (16回卒)
- 会計 ○ 神谷 和雄 (15回卒)
- 後藤 文方 (定2回卒)
- 監査 恒川 良三 (19回卒)
- 森 久勝 (定1回卒)
- 学校幹事 ☆ 青木 宏憲 (23回卒)
- 杉藤 充彦 (20回卒)
- 鈴木矢代子 (21回卒)
- 川辺 浩 (23回卒)
- 野村 弘昭 (42回卒)
- 定 愛知 輝樹 (46回卒)



平成27年3月10日
名古屋国際ホテル

- 平成26年度 第2回 役員会議事録 (出席者24名)
- 1号議案 会計収支決算報告・監査結果 (審議)
 - 2号議案 同窓会報13号の発刊内容に関して
 - 3号議案 熱田高校庭の「人工芝化」計画について(報告)
 - その他 ア、卒業生数一覧 (卒業生数25,302名)
 - イ、創立65周年記念に備えて

平成26年度

愛知県立熱田高等学校同窓会会計収支決算報告

(平成26年4月1日から平成27年3月3日まで)

収入の部		円
前年度繰越金		2,603,723
入会金 全日制 60回生 319名×@6,000円		1,914,000
" 定時制 47回生 12名×@6,000円		72,000
普通預金 利息 2件 (8月分・2月分)		308
合 計		4,590,031 一a
支出の部		
会員データ 管理費 2件		63,252
寄贈 全日制60回・定時制47回 ミニ会員名簿		108,864
" 卒業証書入 全日・定時ホルダー		170,864
助成金 定時制通信制教育振興会費 5口×@2000		10,000
" 同期会 (1・6・14・18・31回生)		173,422
" 定時制 総会に向けて		97,391
会議費 2件 (役員会・幹事会)		186,365
会報12号製作費 一式		152,441
慶弔費3件 (会計 江村雅夫氏・会田和男先生、小島正嗣先生)		51,732
通信費 9件		25,272
事務用品 4件 (プリンター購入)		26,092
雑費 8件 (謝礼4件・図書券3件)		36,170
		1,101,865 一b
次年度繰越金 (名古屋銀行六番町支店普通預金残高 a-b)		3,488,166
積立金として (千年郵便局定期預金)		5,000,000
" (千年郵便局定期預金の解約利息)		1,255,000

平成27年3月3日、上記のとおり会計報告をします。 仮会計代表 万前秀男

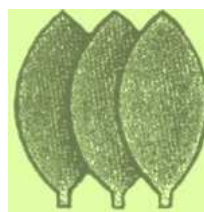
執行担当者 万前秀男 青木宏憲

平成26年度会計における証拠書類並びに会計帳簿を精査したところ、正確に処理されていることを認めます。

平成27年3月5日 監査代表 神谷和雄

学校幹事=卒業生の熱田高校勤務者
☆印=代表幹事 定=定時制勤務
○印=新規役員

同期会開催に関して
同窓会より、通信費・宛名ラベルの費用は
援助しております。ぜひ利用して下さい。
連絡先：学校幹事または役員まで



堂章のみどりは、楠の葉を型どった三本の木々に、本校が教育目標とする品格ある人間、気力ある生活人、健康なる日本人を、また、全体にはきよき森を表わして、心の啓示とし、その育成と生々発展とをこい願っている。

最近の新聞記事より

名古屋 熱田高校、県環境活動に協力

「竹ECO」生徒が測定へ



間伐した竹のリサイクル 東区の牧野ヶ池緑地をほを敷く実験をしたところ、竹を置いた所の真下古屋市昭和区のNPO法人「竹ECO活用」が二伐採した竹はチップ状や所の教室より夏場の温度十日、同市熱田区の熱田炭にして野菜や米栽培の肥料として再利用している。熱田高では、この春、これら夏に向け、物理 空気の竹は熱を遮断する効果もある。竹を約七百本使用。四・教室の温度を測定し、断とに着目。これまで名古屋市の惟信高、南陽高、のを、クレーンで三階建て校舎の屋上につり上げて敷き詰め、ひもと防腐剤を施した木材で固定した。

この活動は県の「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の対象であることから、大村秀章知事も作業の様子を視察。生徒たちに「地域の環境を守る活動に協力してほしい」と話した。小林整次校長は「これまでも緑のカーテンを育てるなどしてきたが、生徒たちの環境に対する意識をさらに持続させたい」と述べた。

活動の支援、間伐ボランティアの協力は「竹ECO活用」のホームページを参照。(渡部圭)

教職員異動

平成27年度 退職者・転出者及び新転任者一覧(敬称略)

○退職者(全日制)

水野 和明 事務長
浅野 繁 用務員

○転出職員(全日制)

奥川 紀之 教頭 (長久手高)
大津 浩一 教諭 (一宮南高)
北島 好修 教諭 (半田工業高)
山本亜由美 教諭 (国府高)

○転入職員(全日制)

伊藤太佳彦 教頭 (半田東高)
阿部 邦彦 教頭 (瑞陵高)
寺田佳弘 事務長(企業庁総務課)
小縣 須美 教諭 (鳴海高)
寺村 祐耶 教諭 (南陽高)
城所 基之 教諭 (新規採用)

(定時制)

佐野 好宏 教諭 (県史編さん室)

事務局だより

会員名簿2012年版

創立六十周年版会員名簿(平成24年11月発刊)は完売です。次回発刊時にご注文ください。ご購入の方は「会員名簿」の管理につきまして個人情報が流出しないようにご留意いただきたくお願い申し上げます。

業者からの名簿の問い合わせ(進路先・住所・電話等)には同窓会は一

切お答えしません。母校職員を装い、電話で進路先、住所、電話番号などを聞きだす者がいるようですが、母校及び同窓会ではそのようなことは一切しておりません。

会員名簿に關しましては、同窓会は(株)廣濟堂に依頼しております。それ以外は、母校及び同窓会とは一切関係ありませんのでご注意ください。もし、ご不審な点がありましたら、(株)廣濟堂または事務局までご連絡ください。

なお、名簿は同窓会会員のみにしか販売していません。



24年11月 発刊済

氏名	職名	年齢
稲垣 健一	教諭	26
合田 和男	教諭	12
杉田 弘毅	一回生	26
中村 紇子	一回生	6
江村 雅夫	四回生	11
鷺津 寿夫	七回生	2
		14

逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共にお知らせいたします。(係より) クラス幹事の皆様へ 訃報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。

題字 初代書道教諭 名郷紫山